



子宮頸がん(HPV)ワクチンについて



【子宮頸がんとは】

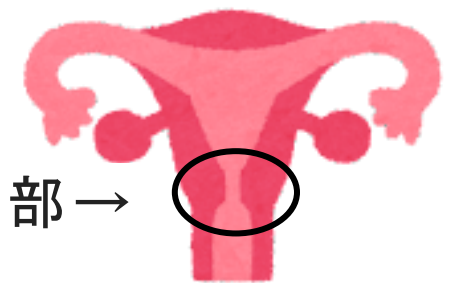
子宮の入り口(頸部)にできるがんで一般には性交渉によるヒト・パピローマウイルス(HPV)の感染が原因となって発生します。

日本では年間約 2,900 人が子宮頸がんによって亡くなっていて、20 代後半から 40 歳前後での発症が多くなっています。

【公費接種の対象】

名古屋市に住民登録があり、

1. 小学校 6 年生から高校 1 年生相当年齢の女子
2. 平成 9 年 4 月 2 日から平成 18 年 4 月 1 日生の方で、子宮頸がんワクチンの接種を 3 回完了していない方



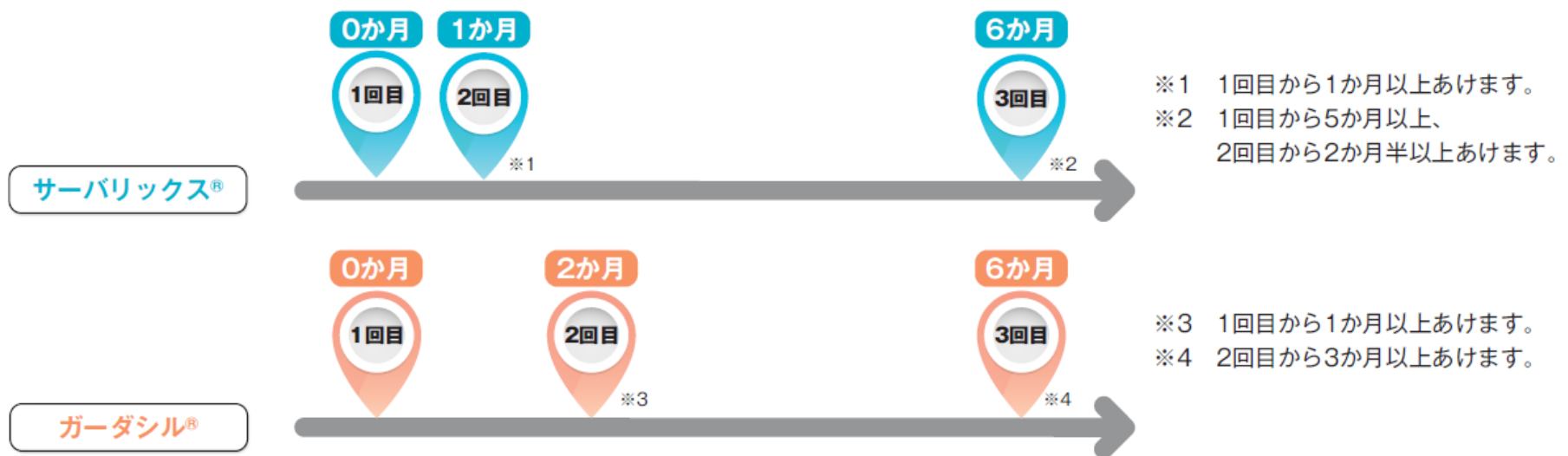
子宮頸部 →

【接種可能なワクチンの種類】

子宮頸がんの原因の6、7割程度を占めているとされる、2種類又は4種類の型に対して感染を予防する効果があります。

- ・サーバリックス®…2つの型(16・18型)の感染を予防する2価ワクチン
- ・ガーダシル®…4つの型(6・11・16・18型)の感染を予防する4価ワクチン

＜一般的な接種スケジュール＞



ともに、1年以内に接種を終えることが望ましい。

[HPV ワクチンに関する Q&A | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

【予約の取り方】

接種するには予約が必要です。3回目までの予約を取ることができます。

～当院受診歴のある方～

電話で予約をとることができます。診察券(診察 ID のわかるもの)を準備のうえお電話ください。

～当院受診歴のない方～

病院に来院していただき、診察券を作成する必要があります。保険証を持参ください。その後婦人科受付で予約をとることができます。

※シルガード 9®…9 つの型(6・11・16・18・31・33・45・52・58 型)の感染を予防する 9 価ワクチン。当院で接種可能ですが**自費**になります。詳細は受付でお尋ねください。

